

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部ごみ対策課	直通電話	72-3126	事業コード	201030102	課内	12	作成日	平成15年8月6日
		担当者	吉井 重正	担当課長	加藤 光治	担当部長	吉田 保雄		

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	衛生団体連合会補助金	開始年度	S54	終了年度	永続						
		最近の事業内容見直し年度									
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>2010301</td> <td>快適環境の創造 / 自然保護意識、環境美化意識の高揚</td> </tr> <tr> <td>2050601</td> <td>環境衛生の充実 / その他環境衛生対策の推進</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	2010301	快適環境の創造 / 自然保護意識、環境美化意識の高揚	2050601	環境衛生の充実 / その他環境衛生対策の推進
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目										
2010301	快適環境の創造 / 自然保護意識、環境美化意識の高揚										
2050601	環境衛生の充実 / その他環境衛生対策の推進										
3) 個別計画での位置付け											

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	衛生思想の普及と健康で明るく住みよいまちづくりのため、廃棄物の減量と地区衛生組織活動を推進し、公衆衛生の向上を図る。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	公衆衛生と、ごみの減量・再資源化に対する市民の意識が高まるようにする。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<p>次のような事業を行っている石狩市衛生団体連合会の活動経費に補助する。</p> <p>春・夏・秋季全市一斉クリーン作戦実施      クリーンいしかり運動推進地区指定</p> <p>リサイクルフェスタ開催 (リサイクル品抽選販売、フリーマーケット、廃油リサイクル石けん配布、PETボトル風車作り、他)</p> <p>冬期フリーマーケット開催      蚊とハエをいなくする運動実施      廃棄物処理施設等視察研修会実施</p> <p>北海道公衆衛生大会参加</p>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	昭和54年発足当初は、生活環境の改善のため「蚊とハエをいなくする運動」が活動の主軸であったが、下水道整備など生活環境の改善が進むにつれ、活動の主軸は「ごみの減量とリサイクル」へと変化してきた。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	春・夏・秋季全市一斉クリーン作戦への町内会単位での参加
7) 評価中間公表への市民意見	組織効率の観点からの見直しであれば、評価は「E」。廃止をしてほしい。全市一斉清掃(クリーン作戦)でのゴミ袋の配布を中止すべきである。

## 3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	2,000	2,000	2,000	1,700	石狩市衛生団体連合会補助金	2,000	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,465	2,487	2,471				
総事業費(1~3の合計;千円)	4,465	4,487	4,471			H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	4,465	4,487	4,471				
市民一人当たり一般財源使用額(円)	81	81	80				
事務に従事した正職員のべ人数	0.30人	0.30人	0.30人				

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
全市一斉クリーン作戦実施周知回数(回)	目標値	7	7	7	7	市民に対する実施時期の周知回数で設定 ・年度当初の総会で実施日程を周知 ・広報いしかり及び町内回覧で実施前周知
	実績値	7	7	7		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
リサイクルフェスタ・フリーマーケット出店数(店)	目標値	50	50	50	36(実績)	フリーマーケット予定区画数に対する出店率で設定 ・目標値 = フリーマーケット予定区画数 ・実績値 = フリーマーケット最終出店数 (出店希望が予定区画数を上回る場合は抽選)
	実績値	50	44	45		
	達成率	100.0%	88.0%	90.0%		
冬期フリーマーケット出店数(店)	目標値	41	47	47	40	フリーマーケット予定区画数に対する出店率で設定 ・目標値 = フリーマーケット予定区画数 ・実績値 = フリーマーケット最終出店数 (出店希望が予定区画数を上回る場合は抽選)
	実績値	41	47	47		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		

## 5 事業の成果

事業名：衛生団体連合会補助金

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
全市一斉クリーン作戦参加世帯数(世帯)	目標値	59,349	60,759	62,295	63,969	全世帯における参加世帯の割合で設定 ・目標値 = 年度当初総世帯数 × 3 ・実績値 = 実施団体の世帯数の合計 (日程を変更し実施した団体あり)	実施申込
	実績値	43,078	43,099	42,817	目標レベル		
	達成率	72.6%	70.9%	68.7%			
	最終目標	年度に					
リサイクルフェスタ来場者数(人)	目標値	未設定	1,210	1,155	1,500	前年度来場者数の1割増を目標値に設定 H12年度は初開催のため目標値未設定 H15年度は来場者数の実績	駐車台数
	実績値	1,100	1,050	1,100	目標レベル		
	達成率		86.8%	95.2%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	クリーン作戦やフリーマーケットなどの実施事業については、減量運動の推進役として一定程度の実績は認められる。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	事業実施については、主に町内会活動の範囲や行政が中心になって行っており、一定の役割は認められるが、実施主体として組織運営が広い範囲の市民に必要とされているか疑問である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	単位町内会からの代議員制で組織されている団体であり、各町内会の活動と重複するところが多く見られ、全額補助での事業実施については疑問がある。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	クリーン作戦やフリーマーケットなど、市民参加による事業の取り組みに対して一定の妥当性は認められるが、全額助成のなかで行政(事務局)中心の事業実施について疑問がある。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	D	[最終評価]	D (前年度)
	当該事業については、一定の有効性は認められるが、組織設立の時代背景からの経過などを踏まえ、より効率的な組織運営のあり方を検討する必要がある。		【部長評価】所期の目的を達成しており、ごみ減量計画の推進母体も含めて、組織再編の時期である。 【市長評価】部長評価を了承する。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	関係組織(連合町内会)との調整を含め、組織効率の観点から統廃合などの見直しが必要である。
最終評価	[担当部長] 公衆衛生部門を中心とした組織再編を目指すべきである。 [市長評価] 部長評価を了承する。

## 9 平成16年度の方向性

* : 担当課長 : 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合 休・廃止		*
上についての説明	[市長評価] 部長評価を了承する。		

**(付表)**  
**補助・負担金等事業内容整理表**

担当部課： 生活環境部ごみ対策課

事業名： 衛生団体連合会補助金

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	衛生団体連合会補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩市衛生団体連合会 会長 山田義晴 (市内全町内会から各1名の代議員で構成)
活動(事業)目的	健康で明るく住みよいまちづくりのために、クリーンいしかり運動を推進し、ごみの分別徹底とリサイクル意識を高め、ごみの減量及び環境美化・保全に努め、地域の衛生活動を後押し公衆衛生の向上を図る。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	事務費	56	56	25	25	28	28	29	29
	会議費	5	5	40	40	29	29	25	25
	負担金	138	138	132	132	137	137	51	51
	事業費	1,755	1,755	1,716	1,716	1,706	1,706	1,505	1,505
	旅費	126	126	127	127	110	110	90	90
	歳出合計	2,080	2,080	2,040	2,040	2,010	2,010	1,700	1,700
歳入決算 (予算)状況	衛生団体連合会補助金	2,000	96.2%	2,000	98.0%	2,000	99.5%	1,700	100.0%
	資源リサイクル道民運動交付金	80	市の補助負担金への依存度	40	市の補助負担金への依存度	10	市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度
	歳入合計	2,080		2,040		2,010		1,700	
補助・負担対象経費の内容	活動・運営経費(事務費、会議費、負担金、事業費、旅費)								
補助・負担金額の算定方法	活動・運営経費に対し全額補助								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
全市一斉クリーン作戦参加町内会数(団体)	166 団体	164 団体	159 団体	240 団体
リサイクルフェスタ出店者数(店)(再掲)	50 店	44 店	45 店	36 店(実績)
冬期フリーマーケット出店者数(店)	41店	47 店	47 店	40 店
蚊とハエをいなくする運動実施町内会数(団体)	7 団体	7 団体	7 団体	7 団体
平成14年度活動(事業)実績	春・夏・秋全市一斉クン作戦(159単位町内会) クリーンいしかり運動推進モデル地区指定(10単位町内会) リサイクルフェスタ開催(来場者1,200名) 冬期フリーマーケット開催(来場者750名) 蚊とハエをいなくする運動(7単位町内会) 廃棄物処理施設等視察研修会(各単位町内会から30名参加) 北海道公衆衛生大会参加(役員3名参加)			

4 特記事項

<p>【リサイクルフェスタ】          ・リサイクル品抽選販売 ・フリーマーケット ・包丁砥ぎコーナー ・重量当てクイズ ・ガーデニンググッズ格安販売          ・リサイクル小物即売 ・木工型抜き ・PETボトルを使った風車作り ・資源物選別工場見学          ・廃油リサイクル石鹸無料配布(粉石鹸・・・先着200名、固形石鹸・・・先着100名)</p> <p>【廃棄物処理施設等視察研修】          ・株式会社マテック ・株式会社紙商五代          ・株式会社札幌リサイクル公社(プラスチック選別センター、プラスチック油化施設)</p>
---